

27 年度指導方法の課題分析と具体的な改善策及び補充指導などの計画 教科 国語

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の既出漢字が定着していない。</li> <li>・文字を書くのに時間がかかり、考えたり読んだりする際の集中力が下がっている。</li> <li>・自分の考えを言ったり、書いたりして表現することが苦手な生徒がいる。</li> <li>・必要だと思う箇所をメモ書きすることが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文を書く際に、こまめに漢字をチェックすることで漢字を書く習慣づけを行う。</li> <li>・書く時間と考えたり読んだりする時間とを分け、一つの行動に集中できるようにする。</li> <li>・少人数のグループ活動を通して、他の人の意見を聞く習慣をつけることで説明の仕方などを学べるようにする。</li> <li>・ノートにメモ欄を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中の補充学習を、基礎基本の危うい生徒に絞って行う。</li> <li>・試験前には、希望者を対象に質問教室を開く。</li> <li>・必要に応じて生徒の発言を違う言葉で表現することで、説明の仕方の多様性を意識付けできるようにする。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の学習は、小学校の既出漢字のテストは終わったが、基本的な漢字の定着率に問題がある。</li> <li>・書くことに関してやや苦手な意識を持っている生徒がいる。</li> <li>・読解力に関してなかなか自信の持てない生徒がいる。そのため、自己の意見を発表することが消極的になりがちである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に 1 回の漢字テストは継続する。授業の初めに、5 分間の漢字学習時間を設け、単元別漢字のテキストや自主学習ノートを利用して学習させる。</li> <li>・自己の意見や感想を短い文章で書く機会を適宜設けて、書くことに慣れさせる。</li> <li>・黙読、音読など読むことを通じて、協同学習を展開する。少人数で意見交換をさせ、自己表現ができるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中の補充教室を指名制と希望制の両方で行う。</li> <li>・考査前には、質問教室を開く。</li> <li>・各種コンクールに積極的に取り組ませ、書くことの楽しさを体感させる。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばらつきがあるものの、読解力が不足している生徒がいる。読解した内容に対して、自分の考えをまとめることが苦手な生徒がいる。</li> <li>・積極的に話をする生徒が多いが、なかには良い意見を持っていても、発表に消極的な生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読解のポイントが絞れるように、ワークシートを工夫する。自分の考えを文章化したり、発表したりする活動を増やす。</li> <li>・近くの生徒と意見の確認をさせたり、発表前にグループで練習する時間を設けたりすることで、自分の意見に自信を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季補充教室で基礎・基本の定着を図る。作文の際には例文を示す。授業時間内に終わらない生徒は放課後や休み時間に個別補習を行う。</li> <li>・生徒同士の練習を増やしたり、事前に意見の良い点を伝えたり、助言をしたりする。</li> </ul>